

「目的」

2011年より、歯学部改革として、組織再編、カリキュラム改良、経営改革、新しいプロモーションシステムの導入などを行ってきた。

5年生のHSDMでの高次臨床実習では、この4年間で8名が研修した。卒業した5名うち1名は医学部編入、2名は臨床講座大学院に進んだ。この5年次研修と対応して、HSDMから2年連続で6名の学生が岩手を訪れている。

しかしながら、“世界に通用する歯科医師の育成“という歯学部改革のミッションを実現するためには、国際経験を積む機会を一層充実させなければならない。

そこで、グローバル化に対応できる国際的視野を持つ学生、大学院生および若手・中堅教員の育成を目的として、岩手医科大学歯学部には Study Abroad プログラムを設立する。

この“Study Abroad プログラム”によって歯学部全体のグローバル化を推進し、歯学部創立50周年を機に、岩手医科大学歯学部のリブランディング（rebranding）を行う。

リブランディング (rebranding)

今在る場所から今後向きたい場所へ、ブランドのポジショニングを変えていく一連の活動。ブランドとしての基盤はできているが、そこに何らかの課題が生じた場合に行う。

「6つの Study Abroad プログラム」

対象者別に6つのプログラムを設立する。

1. サマー・スプリング プログラム
2. 高次臨床実習
3. 臨床研修医・国際研修
4. 大学院生・長期研究留学
5. 教員短期研修（未定）
6. 教員長期研究留学

	対象者	期間	応募締め切り	採択判定
サマー・スプリング プログラム	1年生～ 4年生	1～2週間	サマー 5月31日 スプリング 1月10日	教育学分野
高次臨床実習	5年生	1～2週間	1月10日	教育学分野
臨床研修医・国際研 修	臨床研修医	1～2週間	4月30日	教育学分野
大学院生・長期研究 留学	臨床講座専攻の 大学院生	1年	指定なし	教育学分野 および 専攻講座
教員短期留学	臨床講座教員	3ヶ月以内	指定なし	
教員長期研究留学	臨床講座教員	3ヶ月～1年	指定なし	

* 教授会の承認を得て、最終採択とする。

1. サマー・スプリング プログラム

夏休みまたは春休みを利用した1～2週間のプログラムである。学部の早い段階で歯科医師になるモチベーションを高めると共に、グローバルな視野を養う機会を提供する。“Fun”要素を組み込み、参加のハードルを低くして、応募しやすいプログラムとする。

「対象」

歯学部1年生、2年生、3年生および4年生。

「応募方法」

指定の申込書に必要事項を記入し、教育学分野（工藤准教授または浅野講師）に提出する。サマープログラムは5月31日、スプリングプログラムは1月10日を締め切りとする。

「採択」

下記の基準に従い教育学分野が採択を決定し、教授会の承認を得る。

- 成績に深刻な問題がないかどうか（留年経験は問わない）。
- 社会人としてのモラル・礼節を有しているかどうか。

採択結果は締め切り後、1週間以内に発表する。

「プログラム概要（案）」

	カリキュラム	カリキュラム外企画
土曜日	日本発 Boston 着	
日曜日	Program 説明会 at Harvard School of Dental Medicine HSDM および HMS ツアー、Harvard ケンブリッジメインキャンパスの案内 各自のミッションテーマの相談・決定	
月曜日	基礎実習見学(TxAD)	～選択カリキュラム～ HSDM 講義の聴講 HSDM Faculty 外来見学 Boston 大学ツアー MIT ツアー 開業医の見学 ハイエンド技工所の見学 ESL:英会話レッスン
火曜日	学生外来診療見学(3年生および4年生)	
水曜日	大学院生外来診療見学(歯周、補綴、矯正、歯内、小児、口腔外科)	
木曜日	先進 Translational Research の紹介 Harvard Business School ツアー(i-Lab, Innovation Lab)	
金曜日	テーマ発表作業(テンプレート配布) Harvard Medical School 図書館で	
土曜日	自由行動	
日曜日	自由行動	
月曜日	テーマ発表予行演習(英語指導)	
火曜日	Harvard の関連病院ツアー MGH: マサチューセッツ総合病院、エーテルドーム、ボストン Children's Hospital、etc.	
水曜日	予備日	
木曜日	体験・成果発表会	～自由行動～ Boston 美術館 ケネディー館 ボストンポップス Boston Red Sox ボストンシンフォニー アウトレット 市内観光 その他
金曜日	Boston 発	
土曜日	日本着	

*希望者には現地大学生による、英会話レッスンを組み込む。

2. 高次臨床実習

「対象」

第5学年臨床実習において、10月末日で900点以上のリクワイアメントを達成のうえ、出席良好で成績優秀(専門科目、臨床実習の前期試験成績がいずれも平均点以上であること)かつ高次臨床実習に強い熱意を有する学生で、受入れ機関の承認が得られた学生とする。

「応募方法」

応募希望者は志望動機を800字以内で記載し提出する。申請は11月30日を締め切りとする。

「採択」

資格判定は歯科医療センター委員会からの推薦のもとに教育委員会で行い、教授会の承認を得る。採択結果は締め切り後、1週間以内に発表する。

「プログラム概要」 現行通り

	カリキュラム
土曜日	日本発 Boston 着
日曜日	説明会 at Harvard School of Dental Medicine HSDM および HMS ツアー Harvard ケンブリッジメインキャンパスの案内
月曜日	<ul style="list-style-type: none">講義聴講チュートリアルへの参加基礎実習見学学生外来診療見学(3年生および4年生)大学院生外来診療見学(歯周、補綴、矯正、歯内、小児、口腔外科)ESL:英会話レッスン
火曜日	
水曜日	
木曜日	
金曜日	
土曜日	自由行動
日曜日	自由行動
月曜日	<ul style="list-style-type: none">ホスト学生との交流研修のまとめ作成
火曜日	
水曜日	
木曜日	体験・成果発表会
金曜日	Boston 発
土曜日	日本着

- 主に3年生および4年生の臨床実習の見学を行い、講義やチュートリアルにも参加する。
- 本人の希望により、Specialty Program 外来の見学を行う。
- 研修最後までに、英語による“研修のまとめ“を作成する(努力目標)。

3. 臨床研修医・国際研修

臨床研修医としての研修期間内（専門科配属研修9月、10月）に HSDM の Specialty Program (Advanced Graduate Program)を見学・研修する、国際研修である。臨床研修医終了後に大学院進学または専門講座に残り、さらなる研鑽を積む必要性を認識するための機会とする。

「対象」

臨床研修医

「応募方法」

応募希望者は志望動機を 800 字以内で記載し提出する。申請は6月 30 日を締め切りとする。

「採択」

下記の基準に従い研修管理委員会と教育学分野が採択を決定し、教授会の承認を得る。

- 研修に深刻な問題がないかどうか。
- 社会人としてのモラル・礼節を有しているかどうか。

採択結果は締め切り後、1週間以内に発表する。

「Program 概要（案）」

	カリキュラム
土曜日	日本発 Boston 着
日曜日	説明会 at Harvard School of Dental Medicine HSDM および HMS ツアー Harvard ケンブリッジメインキャンパスの案内
月曜日	必須履修項目 <ul style="list-style-type: none"> • 研修テーマの決定 • 希望選択科に対応する Program の臨床見学、セミナー、講義への参加 • 研修テーマの発表準備
火曜日	
水曜日	
木曜日	
金曜日	
	オプション <ul style="list-style-type: none"> • 歯学部学生の外来や基礎実習見学 • Faculty Practice の見学 • ESL チュートリアル（英会話コース：HSDM において）
土曜日	自由行動
日曜日	自由行動
月曜日	同上
火曜日	
水曜日	
木曜日	体験・成果発表会
金曜日	Boston 発
土曜日	日本着

* 各自の選択希望分野のレジデントの見学を中心に行う。

* 最後に、英語で研修内容のまとめを作成する（努力目標）。

4. 大学院生・長期研究留学

学位研究留学であり、HSDM Nagai ラボにおいて研究計画の立案、実施、学位論文作成までをすべて英語で行うプログラムである。HSDM の大学院の講義、セミナーへの参加や、専門外来の見学および歯学部学生の Pre-Clinical Teaching にも参加できる。

「対象」

臨床講座専攻の大学院生

「目的」

岩手医科大学歯学部としてのコアとなる Translational Research を確立し、大学院卒業後も研究を継続でき、かつ後輩の研究指導を担える臨床歯科医師を育成する。

「応募、採択ステップ」

1. HSDM Nagai ラボ岩手セミナーに参加する（年 2 回～3 回）。
2. NDA* を結び、詳しい研究テーマの検討を行う。
3. 学位研究テーマがマッチし、専攻講座教授と Nagai ラボとの合意を得る。
4. 留学期間を設定する。
5. 教育学分野に申請し、採択判定後、教授会の承認を得る。
 - HSDM Nagai ラボでは、Clinical Research, Translational Research (基礎研究および臨床研究)のテーマを持ち、1年に2名までの大学院生の受け入れを認める。

「カリキュラム」

歯科

講義セミナー	主専攻分野の大学院講義(Perio, Prosth, Endo, Ortho)	義務
症例検討会	Multidisciplinary Case Presentation (AGE)	義務
臨床見学	大学院専門外来の見学(AGE)	希望者
Predoc 講義	IDP ~AD	希望者
Predoc 実習	IDP~AD	希望者
HBS	HBS の Commercializing Science クラスの受講	希望者

研究（義務）

渡米前	研究テーマの決定 <ul style="list-style-type: none"> • Research Meeting を通じて決定する（日本または Web Meeting）
	Research Meeting (隔週) <ul style="list-style-type: none"> • Literature Review および Research Proposal の作成
渡米後	Proposal Presentation
	Weekly Research Meeting
	Intermediate Research Presentation
	Research Defense Presentation
	Manuscript Preparation, Submission
	Weekly 英会話クラス（週 2 回） by 現地バイリンガル学生

本留学プログラムは、HSDM の Advanced Graduate Education における 4 年制の DMSc* (Doctor of Medical Sciences) プログラムを参考とし、2~3 年間は専門分野の臨床習得に重点を置き、HSDM への 1 年間の研究留学により学位研究を達成するものである。

*HSDM の大学院プログラム

4 年制の DMSc (Doctor of Medical Sciences): Specialist Degree の獲得および Doctor Degree の習得。

3 年制の MMSc (Master of Medical Sciences): Specialist Degree の獲得および Master Degree の習得。

「Presidential Scholarship の設立」

応募する大学院生に対し、Presidential Scholarship (仮名) を設立する。本 Scholarship は、大学院生の研究留学を経済的にサポートすることにより、留学しやすい環境を提供する。しいては、研究テーマが講座において継続的に行われることにより、臨床教員が研究を継続できる環境を築くことが可能となる。

「Scholarship の金額」

- HSDM Nagai ラボから 1 名 1 年に付き \$5,000 を支給する (1 年に 2 名まで)。
- 主専攻講座から \$3,000 を支給する (現状維持)。
- 圭稜会から \$2,000 を支給する (可能かどうか、要検討)。
- 用途は問わないが、これにより留学時の居住費用はカバーできる。

「Scholarship の応募条件および規約」

- Study Abroad 大学院長期研究留学に応募する大学院生はすべてに応募資格がある。
- HSDM Nagai ラボ岩手セミナーにおいて Scholarship の説明会を行う。毎年 12 月末を締め切りとし、1 月に採択決定をする (4 月からの留学とした場合)。
- HSDM 留学期間中に学位研究を終え、Peer Review 国際誌へ投稿する。
- HSDM 留学終了後は講座の大学院生、次期 Scholar の指導に従事し、研究を継続する。
- 終了後は臨床に鍛錬し、専門医獲得を目指す。

「留学生の研究費」

- HSDM Nagai ラボで担い、主専攻講座からは徴収しない。
- 主専攻講座との共同研究テーマになる場合は、研究費を分担する。

「Harvard と IMU との契約」

- HSDM への留学であるから、NDA Non-Disclosure Agreement を含んだ Visiting Scholar Agreement を提携する。
- 共同研究テーマとなる場合は、共同研究 Agreement を提携するなど、双方の大学規定に則り、適切な契約を結ぶ。

5. 教員 短期留学

未定

6. 教員 長期研究留学

次世代の歯学部の手取りとなり得る人材を育成することを目的とした短期、長期 Sabbatical 留学と位置づける。

「応募資格」

臨床講座員で、講座への貢献度が高い教員。

「応募・採択ステップ」

講座主任教授の推薦を以って、教育学分野で決定し、教授会の承認を得る。

「目標課題・カリキュラム」

留学教員および所属講座教授と相談の上、決定する。

短期留学：

論文作成を重点におくが、実習での Teaching や授業やセミナーへの参加なども可能。

長期留学：

研究の立案～実施～論文作成を達成し、研究指導能力を向上させる。すべて英語で行う。大学院研究留学のアドバンスバージョンである。

[条件]

長期留学の場合、終了後最低5年間、当該講座に在籍して貢献することを条件とする。

<本件に関する問い合わせ先>

岩手医科大学歯学部 歯科医学教育学分野（工藤・浅野）
TEL 019-651-5111

申込書

-学生および臨床研修生-

応募プログラム	
<input type="checkbox"/> サマー・スプリング プログラム <input type="checkbox"/> サマー <input type="checkbox"/> スプリング	
<input type="checkbox"/> 高次臨床実習	
<input type="checkbox"/> 臨床研修医 Advanced Graduate Program 研修	
応募者	
氏名（日本語およびローマ字）	
歯学部学生	学年： Society： 担当チューター：
臨床研修医	選択科： 終了後の進路(予定・希望)：
住所（日本語）	
電話番号	
Email アドレス	
応募理由	
教育学部門長 署名（月日）	

申込書

-大学院生-

応募者	
氏名（日本語およびローマ字）	
住所（日本語）	
電話番号	
Email アドレス	
主専攻講座：	
応募理由	
希望する研究テーマ	
大学院終了後の希望する進路	
所属講座教授 署名（月日）	
教育学部門長 署名（月日）	

申込書

-教員-

留学タイプ	
<input type="checkbox"/> 短期留学（＜3ヶ月）	
<input type="checkbox"/> 長期留学（3ヶ月～1年）	
応募者	
氏名（日本語およびローマ字）	
住所（日本語）	
電話番号	
Email アドレス	
在籍講座：	
留学中の達成目標	
希望研究テーマ（Nagai Lab との事前打ち合わせを要する）	
所属講座教授 署名（月日）	
教育学部門長 署名（月日）	